

電子申請システムにおけるバイアウト経費の内訳入力について

令和 3（2021）年 4 月から、交付申請書の作成時点でバイアウト経費を支出する予定がある場合は、電子申請システム上で入力していただく必要があります。

【電子申請システム 交付申請書作成画面】

【バイアウト経費の内訳入力】
 (Breakdown of buyout expenses)
 ・本欄はバイアウト経費を支出する予定がある場合のみ入力が必要です。
 ・すべてのバイアウト経費について入力してください。
 ・バイアウト経費は「その他」の費目で計上していただくことになっておりますのでご注意ください。
 ・1時間未満は切り上げて入力してください。(30分→1時間)

再計算

	代行業務の種類 Kind of duties other than research	代行業務の具体的な内容、人数など Specifics and the number of acting person(s), etc., of duties other than research	業務が免除されるおおよその時間(見込) Approximate time of exempt duties (Estimated hours)	総額(円) Total Amount
削除	<input type="text"/>	<input type="text"/>	2	250000
追加	<input type="text"/>	<input type="text"/>		
			合計 Grand Total	250,000 円

プルダウンから選択

教育活動(授業等の実施・準備、学生への指導等)(Educational activities (teaching and preparation for teaching, supervising students))
 診療活動(Medical practices)
 研究成果普及活動(Outreach activities)
 その他(Miscellaneous)

【留意事項】

- ① バイアウト制度の対象となる研究種目は以下のとおりです。
 特別推進研究、学術変革領域研究、新学術領域研究（研究領域提案型）（『学術研究支援基盤形成』は除く）、基盤研究、挑戦的研究（挑戦的萌芽研究を含む）、若手研究（若手研究（A・B）を含む）、研究活動スタート支援、国際共同研究強化（B）、帰国発展研究（国内の研究機関に所属した後に限る）、特別研究促進費
- ② 当該年度に支出予定の全てのバイアウト経費について入力が必要です（研究分担者が支出しようとする場合含む）。
- ③ バイアウト経費の内訳欄は交付申請書 PDF には出力されません（電子申請システム上でのみ確認可能）。
- ④ 交付申請書に記載がない場合でも、その後の研究の進捗により、バイアウト経費を支出することは可能です。
- ⑤ 令和 3（2021）年度報告分の実施状況報告書及び実績報告書において、最終的なバイアウト経費の支出状況を報告していただきます。